



木脇中
学校だより

「夢」実現

ゆめじつげん

第 R6 - 11 号

～地域とともにある木脇中～

発行元：
国富町立木脇中学校
(文責 校長・向江)
令和7年1月7日

新春 特別対談 「どんな木脇中にしていきますか？」



向江 修一
(むかえ しゅういち)
校長 (R5～)

「皆が輝ける学校にしたい」
向江 そのためには、どんな活動を
取り入れていく予定ですか？
芝山 まずは、得意・不得意に関係なく参加できる「愛拶運動」に力を入れ、輝いた

「毎日がスタートラインの気持ちで！」
芝山 嬉しい反面、期待を背負っていき立場として、毎日がスタートラインと思っ
て頑張っていきたいです。
向江 と、ここで、会長はどんな学校にしていきたいですか？
芝山 公約に掲げた通り、全校生徒が輝ける学校したいです。

向江 こんにちは。遅くなり
ましたが、会長就任おめでとう。
就任し2か月が過ぎましたが、今の率直な感想を聞かせてください。
芝山 はい、特に、「合唱発表会」を「文化発表会」に拡大した前会長の発想とバ

（新年を迎えるにあたり、就任2か月余の会長と、これからの木脇中の進むべき方向性について語り合いました。聞き手…向江）



芝山 結
(しばやま ゆい)
生徒会長 (R6-7)

「奥深くに眠る才能にノックし、起こしていく」

向江 そので、生徒や学校・先生、PTAや地域の方々協力して欲しいことはありますか？
芝山 はい、生徒の皆さんには普段の生活を笑って楽しんで欲しいです。また、先生には生徒の小さな行動の変化に気づき褒めてください。地域の方には客観的に見たご意見をお聞かせください。

「行動の変化を褒めて！」
向江 そので、生徒や学校・先生、PTAや地域の方々協力して欲しいことはありますか？
芝山 はい、生徒の皆さんには普段の生活を笑って楽しんで欲しいです。また、先生には生徒の小さな行動の変化に気づき褒めてください。地域の方には客観的に見たご意見をお聞かせください。

「発想とバイタリティを参考」
向江 ちなみに、前生徒会の活動を見習う点は、どんなところですか？
芝山 はい、特に、「合唱発表会」を「文化発表会」に拡大した前会長の発想とバ

R6-生徒会スローガン
木脇 Revolution

生徒会活動を革新的で活力のあるものに、皆さんに、社会に変革をもたらす力を身に付けて欲しいのだ～

「キーくん」

ことを証明する場を設けていきたいと思います。
向江 それでは最後に、会長としての今後の意気込みを聞かせてください。
芝山 まずは、コロナ禍以前の活気を取り戻すことが重要だと考えます。全校生徒が輝ける学校にしていくために、皆さんの奥深くに眠っている才能にノックして呼び起こしていきます。
向江 共感できる部分は共に手を取り合って、毎日登校したくなるような「全校生徒が輝ける学校」を創っていきましょう。

2025年・巳年 「辛抱強さが試される年に！」

(本日の始業式の「式辞」の一部を紹介します。)



新年あけましておめでとうございます。冬休みは、ゆっくり過ごせましたか？ 初夢は見ましたか？ 今年の目標は立てましたか？ 3年生、受験勉強は順調ですか？

ちなみに、私の年末は、柄にもなく古風で、大掃除をし、大晦日には娘たちと食事をしながら紅白を見ながら、新年を迎え、早起きして初日の出を拝み、神社に参り、おみくじを引いて、お祓いをしてもらい、実家に新年のあいさつに伺い、年賀状をSNSで出すスタイルです。

そうこうしているうちに、令和7年、2025年が始まりました。去年の正月は、元日に「能登半島地震」、2日に「羽田空港での航空機衝突」は、皆さんの記憶にも残っていることと思います。能登半島では、その後の9月に線状降水帯による豪雨で、中3の女の子が170キロ離れた沖合まで流され、発見された痛ましい事故もありました。

そのような辛く、厳しい現実があるのが分かっていながら、日頃から皆さんには「自分事として考え、行動するように」と話しているにもかかわらず、向江個人としても、木脇中校長としても、「忙しいから」「誰かがしてくれるだろう」などの言い訳で自分を納得させながら、結局、何もできなかった自分が情けなく、胸が締め付けられる思いです。

さて、「一年の計は元旦にあり」。既に、一年の目標を立て、その実現に向けて努力しようと、決意を新たにしていることと思います。

2024年の辰年は、今まで準備していたことが形になる、新

向江 それでは最後に、会長としての今後の意気込みを聞かせてください。
芝山 まずは、コロナ禍以前の活気を取り戻すことが重要だと考えます。全校生徒が輝ける学校にしていくために、皆さんの奥深くに眠っている才能にノックして呼び起こしていきます。
向江 共感できる部分は共に手を取り合って、毎日登校したくなるような「全校生徒が輝ける学校」を創っていきましょう。

々な成功を目指して、新たにチャレンジするのに最適な年とされ、体育大会を5月に移したり、部活動に拠点校方式を取り入れたり、合唱発表会を終日開催の文化発表会に形を変え、地域の方々を招待するなど、これまでの当たり前を打破したことで、「替えることができるんだ！」という空気が校内に満ちてきた一年でした。

では2025年の巳年は、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされ、辛抱強さが試される年にもなります。すぐに結果が出なくても、自分のペースを保ちながら着実に前進していきましょう。

さて、今日からの第3学期は、1年で一番短い学期ではありますが、学年を締めくる学期であり、次の学年の準備の学期、いわゆる「0学期」でもあります。特に3年生にとっては、義務教育9年間の集大成の学期でもありますので、自分の進路実現に向けて、わずかな時間も惜しんで、最後まであきらめずに、踏ん張ってください。

◆木脇中ホームページ◆

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4143/>

木脇中

検索



🎉🎊🎊🎊 明けましておめでとうございます。早いもので本校在籍2年が終わろうとしています。いつ異動してもいいように、学校・家庭・地域が手を取り合っ、活気があり、住みたいと思ってもらえる木脇地区にしていく仕組み作りに取り掛かります。いいアイデアが浮かびましたらお知らせください。(向江)

